

進路指導室から 第409号

はじめに

2月も中旬に入りました。広島城のお堀には鴨がまだ水面を漂っていますが、日に日に暖かくなっています。

さて、『学研・進学情報 2・3月号』の「小論文ブックレポート」に『行動経済学の処方箋 働き方から日常生活の悩みまで』（大竹 文雄著 中公新書）が紹介されていました。

伝統的な経済学では、人間は自らの目標達成のために、あらゆる情報を集めて最善の行動をとる、合理的な意思決定をすることを考えてきました。一方、現在、注目されている行動経済学では、人間は「様々なバイアスや計算能力の限界によって、必ずしも最適な意思決定や行動がとれない」と考えます。

行動経済学の特徴は、具体的な課題を知り、人間が陥りやすい「バイアス（偏り）」をもとに、何が「ボトルネック（隘路、障害）」になっているのかの予想を立てて、ボトルネックを解消するための方法を示すことができる点です。例えばその一つが「ナッジ（nudge）」です。ナッジとは、「肘で軽く後押しをする」という意味の英語で、行動経済学では「人々の選択の自由を確保しながら、金銭的なインセンティブを用いずに、人々の行動変容を引き起こすこと」を指します。

著書の中では、ナッジの活用について、政府の新型コロナウイルス感染症対策を挙げています。例えば、2020年4月22日に、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議から「人との接触を8割減らす、10のポイント」が発表されました。ゴールデン・ウィークでの人々の移動を減らすことを目的に、「ビデオ通話でオンライン帰省」「待てる買物は通販で」など、イラスト付きで具体的な行動の変容を求めています。行動変容を求める理由としては、「人の命を守ることができる」という利他的メッセージが用いられました。利便性がありますが、自分の行動が人に迷惑をかける可能性に気づいていなかった人は、利他的メッセージによって行動を変容させる可能性があります。また、本人には利他性はなくても、利他的メッセージで行動変容する可能性があります。そして、利己的メッセージであれば、自分だけは感染しないという自信過剰バイアスあるいは楽観バイアスや、自分は大丈夫という正常性バイアスによって、感染症対策をとらないかもしれませんが、利他的メッセージならば、「自分は大丈夫でも周囲の人はそうでもない」と考え、行動変容を促せます。ところで、「人との接触を8割減らす、10のポイント」には、「～を控えて」という表現を用いられていません。それは、行動変容そのものに損失を感じさせないようにするためです。ただし、行動変容は容易ではありません。「意識的な行動変容は非常に困難だ」という前提に立ち、「無意識に行動変容を促すこと」が大切です。例えば、新型コロナウイルス感染症対策として、店のレジの前で列に並ぶ位置が足跡で示されていたり、手指消毒用のアルコールが目立つ位置に置かれていたりすることなども行動経済の知見が生かされています。本書には、「偏見の問題をどう考えるか」「テレワークと生産性」などの現実の諸問題についても考察されていますが、進路指導にも行動経済の知見が活かされるのではないかと考えています。

「令和5年度大学入学共通テストの各教科・科目の平均点」について

2月6日（月）に、大学入試センターから「令和5年度大学入学共通テスト（1月14日（土）・15日（日））平均点一覧」が発表されました。以下はその一部です。

教科名		科目名	受験者数	2023年度平均点	2022年度平均点
国	語 (200点)	国 語	445,358	105.74 (52.87)	110.26 (55.13)
地 理 歴 史 (100点)		世 界 史 B	78,185	58.43	65.83
		日 本 史 B	137,017	59.75	52.81
		地 理 B	139,012	60.46	58.99
公 民 (100点)		現 代 社 会	64,676	59.46	60.84
		倫 理	19,878	59.02	63.29
		政 治 ・ 経 済	44,707	50.96	56.77
		倫 理, 政 治 ・ 経 済	45,578	60.59	69.73
数 学	数学① (100点)	数 学 I ・ 数 学 A	346,628	55.65	37.96
	数学② (100点)	数 学 II ・ 数 学 B	316,728	61.48	43.06
理 科	理科① (100点)	物 理 基 礎	17,978	28.19 (56.38)	30.40 (60.80)
		化 学 基 礎	95,515	29.42 (58.84)	27.73 (55.46)
		生 物 基 礎	119,730	24.66 (49.32)	23.90 (47.80)
		地 学 基 礎	43,070	35.03 (70.06)	35.47 (70.94)
	理科② (100点)	物 理	114,914	63.39	60.72

		化 学	182,224	54.01	47.63
		生 物	57,895	48.46	48.81
外国語	筆記 (100点)	英 語	463,985	53.81	61.80
	リスニング (100点)	英 語	461,993	62.35	59.45

※ () 内の数値は、100点満点に換算したものです。

「私立大学大学別志願状況（2月3日（金）段階）」について

河合塾から、2月3日（金）段階の私立大学大学別志願状況が公表されています。その一部を紹介します。

大 学	方 式	2021年度	2022年度	2023年度	2022/2021	203/2022	状況
青山学院	一般計	20,056	24,614	21,850	123%	89%	確定
	共通テ計	20,067	23,225	22,098	116%	95%	確定
	大学計	40,123	47,839	43,948	119%	92%	確定
学 習 院	一般計	13,675	13,800	14,637	101%	106%	確定
	共通テ計	3,433	2,821	3,457	82%	123%	確定
	大学計	17,108	16,621	18,094	97%	109%	確定
慶應義塾	一般計	36,681	37,894	37,411	103%	99%	確定
	大学計	36,681	37,894	37,411	103%	99%	確定
上 智	一般計	5,412	5,123	4,915	95%	96%	確定
	共通テ計	20,858	17,380	21,637	83%	124%	確定
	大学計	26,270	22,503	26,552	86%	118%	確定
中 央	一般計	45,247	44,842	47,577	99%	106%	確定
	共通テ計	32,110	18,513	19,180	58%	104%	
	大学計	77,357	63,355	66,757	82%	105%	
法 政	一般計	25,200	28,806	30,074	114%	104%	確定
	大学計	25,200	28,806	30,074	114%	104%	
明 治	一般計	45,696	49,935	52,925	109%	106%	
	共通テ計	27,458	25,606	27,261	93%	106%	
	大学計	73,154	75,541	80,186	103%	106%	
立 教	一般計	44,099	40,146	34,642	91%	86%	確定
	共通テ計	21,376	22,500	23,566	105%	105%	確定
	大学計	65,475	62,646	58,208	96%	93%	確定
早 稲 田	一般計	74,820	79,047	74,545	106%	94%	確定
	共通テ計	16,839	14,796	16,334	88%	110%	確定
	大学計	91,659	93,843	90,879	102%	97%	確定
同 志 社	一般計	36,490	37,726	40,157	103%	106%	確定
	大学計	36,490	37,726	40,157	103%	106%	
立 命 館	一般計	48,148	51,191	52,454	106%	102%	
	共通テ計	26,798	27,769	30,345	104%	109%	
	大学計	74,946	78,960	82,799	105%	105%	
関 西	一般計	56,108	57,446	55,284	102%	96%	確定
	共通テ計	22,437	19,987	21,101	89%	106%	
	大学計	78,545	77,433	76,385	99%	99%	
関西学院	一般計	22,585	25,768	28,723	114%	111%	確定
	共通テ計	10,251	11,445	13,872	112%	121%	
	大学計	32,836	37,213	42,595	113%	114%	

この段階では最終集計ではありませんが、各大学の特徴が見えてきます。少子化が続く中で志願者が増加した大学は何らかの理由があるものと思われます。

終わりに

先日、教育学部志望の生徒の小論文指導をしていた際の話です。指導の流れで、生徒に「どんな教員」になりたいのかと聞いたところ、「子どもたちの声を大切にできる教員」になりたいと答えました。その時、たまたま傍を通りかかったある若い先生に同じ質問をしたところ、「自分は部活動を通して生徒たちを育てていきたい」でした。そして、受験に臨む生徒に対して、いろいろとアドバイスをしてくれました。私の教員生活もそろそろ終わりに近づいていますが、彼らのやり取りを眺めながら、微笑ましくも頼もしく思いました。